

拓南製鐵 改善活動

改善活動成果発表大会 発表ダイジェスト(中)

《最優秀賞》

現場改善チームの部 圧延部C班

「冷却床補助スダレの問題点の一掃」

1. 補助スダレとは?



冷却床の溝に落するためのスダレの下部へ設置してある可動式スダレを「補助スダレ」という。

2. テーマの選定



△左段より

△右段より

△左段より

藤沼淳子産業医が着任

拓南製鐵に10月9日、新たな産業医が着任しました。藤沼淳子（ふじぬまあつこ）さんです。自己紹介文を寄稿してもらいました。



10月から産業医として着任しました藤沼淳子と申します。
いつもは一般内科医、訪問診療医をしています。
趣味は水泳、おいしいものを作

出身は埼玉県ですが、沖縄在住
15年ほどになります。

第1木曜日、第3木曜日の月2回訪問しています。
体や心の悩み、心配事などございましたら、お気軽
にご相談ください。

みなさんが、健康で、快適な作業環境のもとで仕事が行えるよう医学的な立場から関わって参ります。
どうぞよろしくお願ひします。



通知書を手にする福味局長と吉波津社長(左から)を囲んで

沖縄労働局(福味恵局長)は9月24日、若者の採用・育成に積極的で離職率・有給休暇取得率などが一定の水準

を満たしているとして拓南
本社を「ユースエール企業」
に認定し、基準適合事業主認
定通知書を交付した。事務受

**拓南本社がユースエール企業に
事務受託・不動産業**

事務受託・不動産業で全国初

卷之三

託業・不動産業としては全国初の認定となつた。

ハローワークや教育機関などを通じて情報収集していく

る。そのような取り組みを認めていただけたのではない

与した。そのもよを『沖縄タイムス』『琉球新報』が下記の通り報道した。

式後の記者会見で、タイムス紙が古波津社長に「認定された要因は何だと思うか?」と質問。古波津社長は「継続的な採用、それと、発展段階ではあるが教育体制を評価していくだけたのではないのか」と思っている。採用については専門部署を設け、通年で対応し、中途採用についても

「ホワイト企業」として認定

拓南本社人事部次長
翁長辰伍

今回、厚生労働省・沖縄労働局からの認定を受け事務受託業・不動産業としては全国初、県内では12番目のユースエール企業の認定を受けました。

このユースエールとは
若者の採用・育成に積極的
で、若者の雇用管理状況が
優良な中小企業を認定す
る制度で、「若者雇用促進
法」に基づいて厚生労働省
が実施しております。主な
認定基準としては以下の
通り。

○月平均所定外労働時間
(残業時間)が20時間以
下かつ60時間以上の社
員が1人もいないこと

育成を支援する助成金の優遇、日本政策金融公庫からの低利融資などさまざまで、拓南本社は厚生労働省による企業が増えているなかで、拓南本社は厚生労働省

また、拓伸会関連各社が認定していただけるよう採用活動はもちろんのこと、労務管理をしつかり行い、ユースエール認定企業として認めていただけるために全力でサポートしてまいります。

○全事業年度の有給休暇の取得率が70%以上または年間取得日数が10日以上

が設定した残業時間数や有給取得率など、一定の条件をクリアする「ホワイト企業」として認定していただけました。

○全事業年度の有給休暇の取得率が70%以上または年間取得日数が10日以上

○直近3年間の新卒者などの離職率が20%以下この認定を受けることで、ハローワークなどでの積極PRや、若者の採用・育成を支援する助成金の優遇、日本政策金融公庫か

「働き方改革」をはじめ従業員の労働環境が叫ばれるなか、法令順守で社員の労働環境面に配慮してきた結果を認めていただけました。

本欄については個人情報が含まれているため、実際の紙面のみでの公開とさせていただきます。

後編
記集

沖縄の産業まつりは、今回、オンラインと分散という2本柱で行われました。当初は「中止」と報道されただけに、見事な復活劇でした。「変化に最も適応できる生物が生き残る」という自然科学者の名言がありますが、まさに「ウイズ・コロナ」の精神では、産業まつりの復活劇は、さりげなくそれを教えてくれました。(鈴木)